

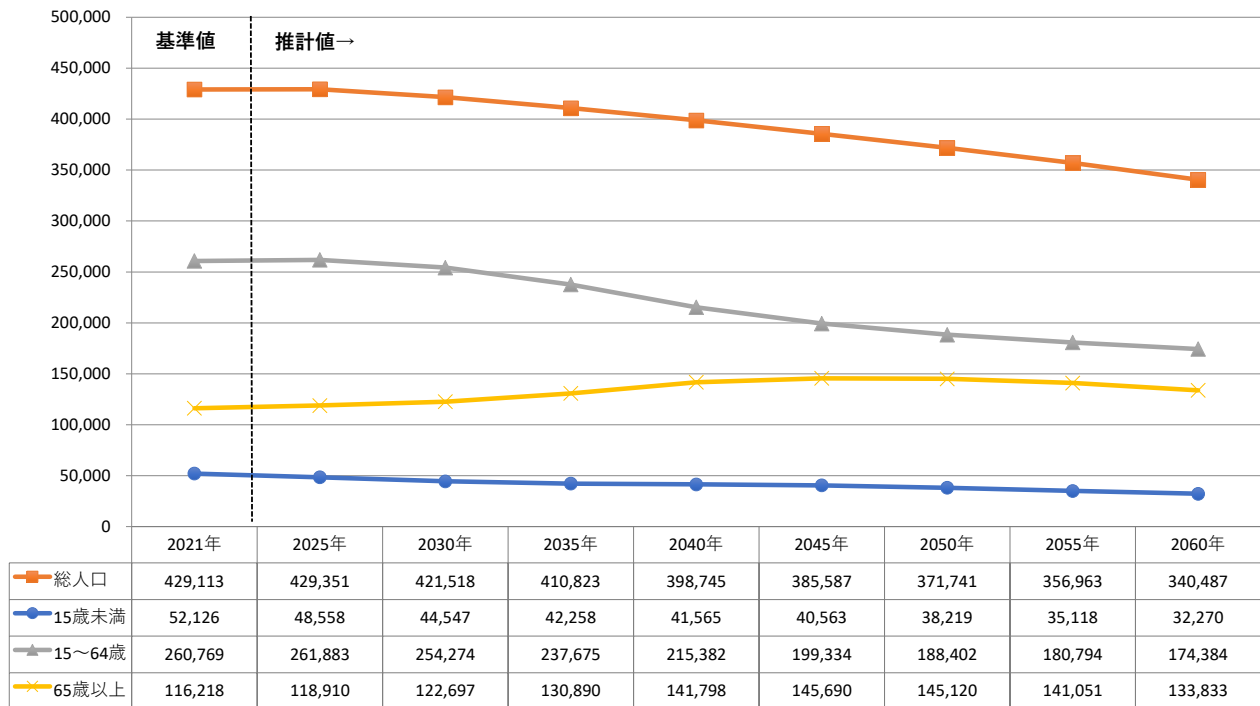
資料② 町田市の文化芸術資源

1. 町田市の現状

(1) 将来人口推計

- 町田市の将来人口は、2025年の429,351人をピークに減少傾向で、2060年には340,487人となっています。
- 65歳以上の高齢者人口は、2045年の145,690人まで増加し、微減傾向となっています。

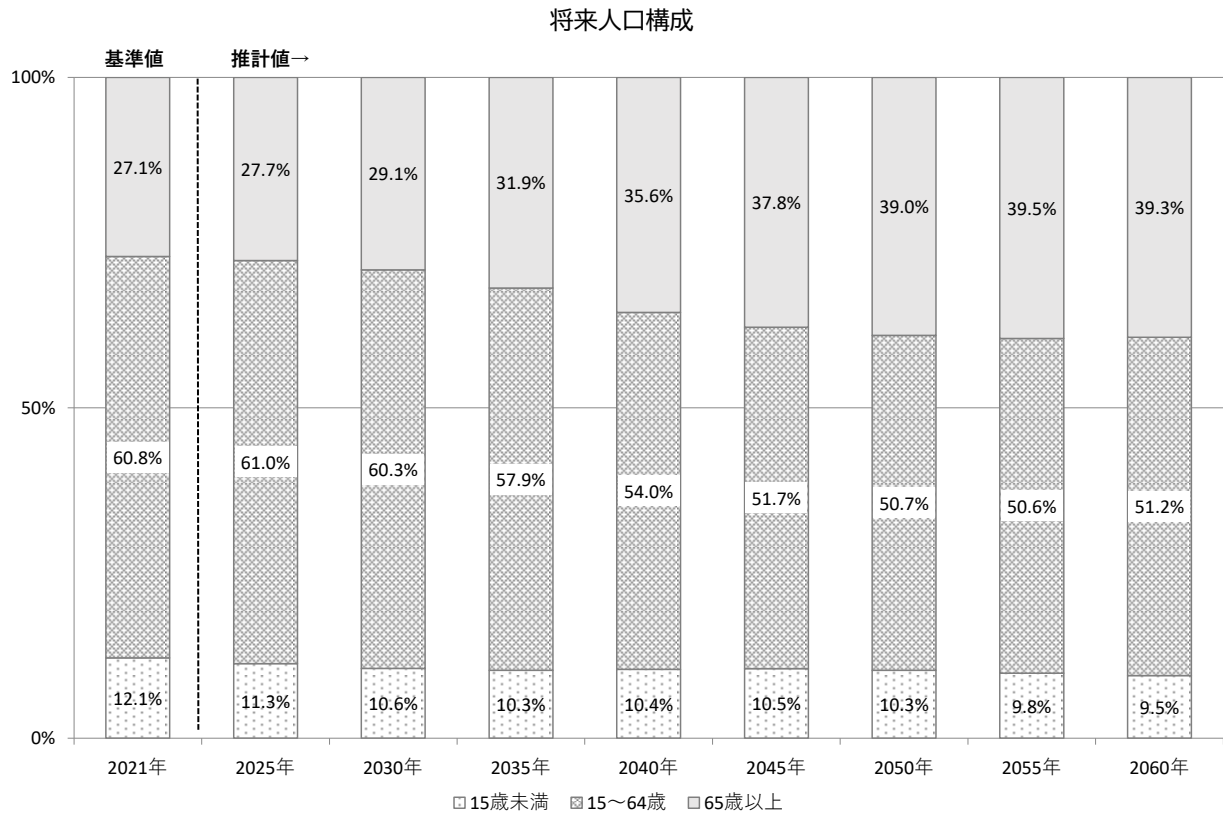
将来人口推計



「町田市将来人口推計報告書」(2021年10月、町田市)より作成

(2) 将来人口構成

- 町田市の将来人口構成は、2021年から2060年にかけて、15～64歳の生産年齢人口が9.6ポイント減少する一方で、65歳以上の高齢者人口が12.1ポイント増加しています。
- 15歳未満は、2021年の12.1%から2060年の9.5%へ減少しています。

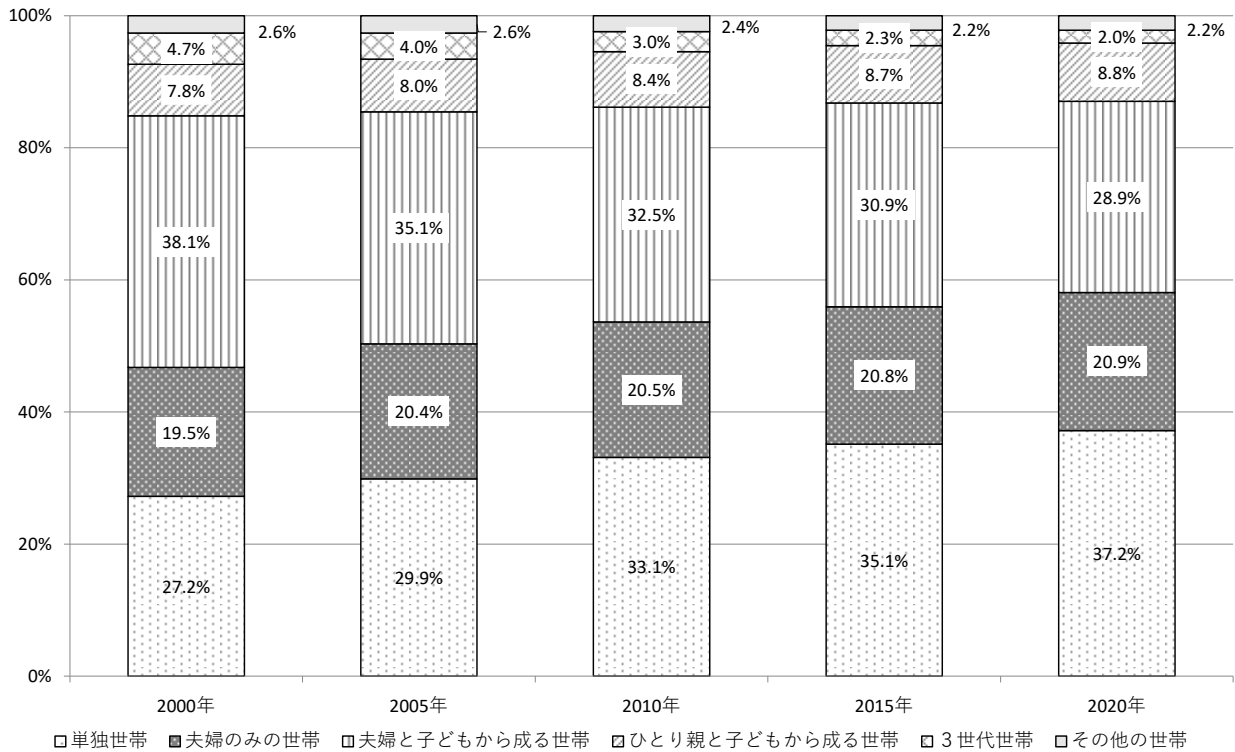


「町田市将来人口推計報告書」(2021年10月、町田市)より作成

(3) 家族類型別世帯数の割合

- 町田市の家族類型別世帯割合の推移をみると、2000年から2020年にかけて、単独世帯は27.2%から37.2%へ10ポイント増加しています。
- 一方、夫婦と子どもから成る世帯は、2000年の38.1%から2020年の28.9%へ9.2ポイント減少しています。

家族類型別世帯割合の推移

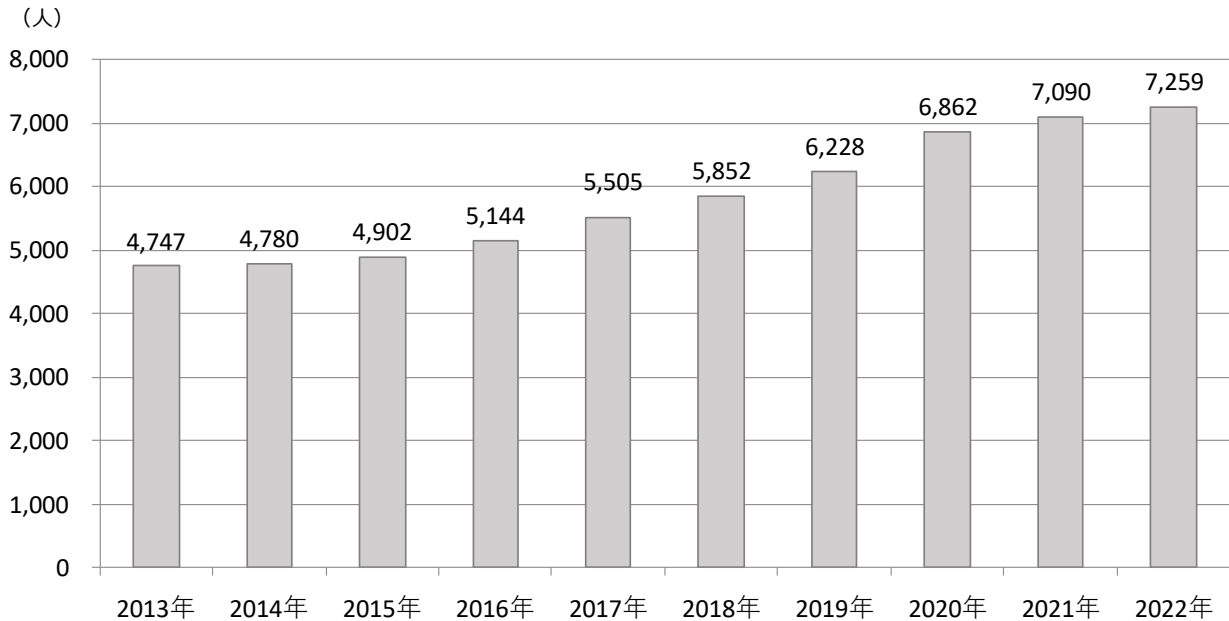


「国勢調査」(総務省統計局)より作成

(4) 外国人人口

- 町田市の外国人人口は、2013年の4,747人から2022年には7,259人と2,512人増加し、10年間の増加率は52.9%となっています。
- 国籍別にみると、中国が2,895人と最も多く、韓国・朝鮮が1,076人、フィリピンが673人、ベトナムが616人と続いています。

外国人人口の推移



「町田市統計書（第51号～第56号）」（町田市）より作成

2022年の国籍別外国人人口

国籍	人口(人)	国籍	人口(人)
中国	2,895	英国	71
韓国・朝鮮	1,076	スリランカ	66
フィリピン	673	バレー	62
ベトナム	616	カナダ	61
米国	250	モンゴル	58
インドネシア	147	バングラデシュ	46
ネパール	150	マレーシア	40
インド	120	ミャンマー	34
タイ	111	その他	692
ブラジル	91	合計	7,259

「町田市統計書（第56号）」（町田市）より作成

(5) 産業構造

- 町田市の事業所数をみると、2016年の全産業12,106事業所の中で、「I卸売業、小売業」が2,990事業所と最も多く、4事業所に1つは「I卸売業、小売業」となっています。
- その他に「M宿泊業、飲食サービス業」が1,546事業所、「P医療、福祉」が1,333事業所と続いています。

産業別事業所数

産業大分類	事業所数	
	2012年	2016年
A～R 全産業(S公務を除く)	11,985	12,106
A 農業、林業	27	28
B 漁業	-	-
C 鉱業、採石業、砂利採取業	1	-
D 建設業	1,197	1,114
E 製造業	493	452
F 電気・ガス・熱供給・水道業	4	3
G 情報通信業	195	205
H 運輸業、郵便業	168	155
I 卸売業、小売業	3,057	2,990
J 金融業、保険業	207	204
K 不動産業、物品賃貸業	983	928
L 学術研究、専門・技術サービス業	651	692
M 宿泊業、飲食サービス業	1,501	1,546
N 生活関連サービス業	1,163	1,167
O 教育、学習支援業	602	646
P 医療、福祉	1,079	1,333
Q 複合サービス事業	36	43
R サービス業(他に分類されないもの)	621	600

「経済センサス」(総務省統計局)より作成

2. 他自治体との文化環境比較

町田市の文化環境について、隣接する2市、自治体間ベンチマーキングの比較都市2市と比較することで、特徴を探る。

(1) 市の歴史や特性

町田市	<ul style="list-style-type: none"> ・1958年（昭和33年）2月に町田町、鶴川村、忠生村、堺村の1町3村が合併し、東京都で9番目の市として誕生 ・明治時代に八王子から横浜港に絹を運ぶ中継地点として賑わい、商業都市としての基礎が築かれた ・現在も商業集積地として、2022年（令和4年）の小売業年間販売額は東京都62市区町村のうち13番目、23区を除くと八王子に次いで多い ・町田創造プロジェクト、若者が市長と語る会など「子どもの参画」の取組を積極的に実施、「ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業実践自治体」に承認されている ・シリーズ累計600万部突破の人気アニメ「デート・ア・ライブ」の舞台。2018年から毎年「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に選出 ・三浦しをんの小説「まほろ駅前多田便利軒」の舞台。映画化の際には実際にロケ地となった ・JリーグFC町田ゼルビア、フットサルFリーグASVベスカドーラ町田の本拠地
神奈川県相模原市	<ul style="list-style-type: none"> ・広大な土地の取得が容易であったことから、1930年代より軍都としての整備が進められ、軍施設が置かれた。戦後は軍都のための道路網などのインフラの整備と小田急線の交通アクセスにより市街地化が進展、1954年に市制施行、2010年政令指定都市に移行。旧軍の施設は米軍に接収されたが、一部は返還され再開発が行われる。 ・首都圏業務核都市指定都市として首都圏南西部をリードする広域交流拠点都市としての発展を目指す一方、東京のベッドタウンとしての宅地開発が進み、2020年の昼夜間人口比率が88.9と90を下回るなど、政令指定都市としては都市の中核性が薄い。 ・小惑星探査機「はやぶさ」で注目されたJAXA相模原キャンパスがある。 ・JリーグSC相模原、女子サッカーWEリーグノジマステラ神奈川相模原、アメリカンフットボール日本最高峰Xリーグノジマ相模原ライズ、JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 三菱重工相模原ダイナボアーズの本拠地
神奈川県川崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・1912年、日本鋼管（現JFEスチール）川崎製鉄所の設立を機に臨海工業地帯として発展し、1924年市制施行。1950年代より北部の住宅地供給が盛んになり、東京のベッドタウンとして成長、1972年政令指定都市。 ・二次産業中心だが重化学工業からハイテク産業への切り替えが進みつつある。政令指定都市中もっとも人口の自然増の率が高く、また財政力指数も高い（2020年現在）。 ・「音楽のまち・かわさき」として、音楽によるまちづくりを推進。 ・「ミューザ川崎シンフォニーホール」を中心に、市のフランチャイズオーケストラである東京交響楽団が地域に密着した演奏活動を行うほか、昭和音楽大学・洗足学園音楽大学の2つの音楽大学、4つの市民オーケストラ、100を超える市民合唱団、企業の吹奏楽団や合唱団など多くの音楽資源をもつ。 ・音楽以外にも、「岡本太郎美術館」「藤子・F・不二雄ミュージアム」など全国から集客できる美術館を有する。「市民ミュージアム」は、写真、マンガなど国内で未着手だった新たなジャンルを含む複製技術芸術を総合的に収集するミュージアムとして国内外で注目された。 ・シネコン、映像スタジオや日本映画大学があり、テレビドラマや映画のロケ地が多く、市民、事業者、行政が協力して「映像のまち・かわさき」推進事業に取り組む。

	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎競輪場、川崎競馬場がある。 ・Jリーグ川崎フロンターレ、東芝野球部の本拠地
神奈川県 藤沢市	<ul style="list-style-type: none"> ・中世には門前町、江戸時代には宿場町として栄え、明治以降は、農村地帯を背後に控えた商業の中心地として、さらに鉄道の発展とともに、保養・観光・文化の地としても発展。 ・1970年代には大型商業施設の進出により、湘南地域の商業の中心地を形成。学園・文化都市としての一面も持ち多様な機能を持つ都市となっている。 ・「市民オペラ」発祥の地として、1973年からこれまでの間に24回公演を行っており、藤沢市の舞台芸術の代表的存在となっている。 ・「藤沢市アートスペース」は、美術振興施設として湘南地域で活動する若手芸術家等を支援することを基本コンセプトとし、様々な企画展を実施。今後が期待される芸術家とのつながりが生まれる事業を展開。 ・音楽とアートの広場「アートスクエア」が2022年3月にオープン。ストリートピアノが設置され、多くの人に音楽にふれる機会が提供されている。
千葉県 柏市	<ul style="list-style-type: none"> ・1950年代後半以降、市中心部から南部地域にかけて市街地の形成が進み、人口が増加、常磐線複々線化等を契機に首都圏のベッドタウンとして開発が進む。 ・1970年代には柏駅に日本初のペDESTリアンデッキが建設される。百貨店や商業施設が進出し、現在柏駅周辺には大型ショッピングモールが林立。 ・つくばエクスプレス開業後、柏の葉キャンパス駅を中心に新たな市街地が形成され、子育て世帯を中心とした若い世代が流入している。また、周辺には研究・教育施設が集約し、「公・民・学」連携による国際学術都市となっている。 ・2011年課題解決型まちづくりコンセプト「世界の未来像をつくる街」を掲げ、スマートシティによる様々な取組を推進。 ・市の情報発信事業として、2017年度よりスマートフォンアプリ「LINE LIVE」を他市に先駆けて始め、市内イベントをリアルタイムで配信。 ・1990年代から柏駅周辺に多くのストリートミュージシャンが集い、2005年「ストリートミュージシャン登録制度」ができる。「音楽の街かしわ」としてまちづくりを推進。 ・Jリーグ柏レイソル、女子バスケットボールチームJX-ENEOSサンフラワーズの本拠地

(2) 面積、人口

項目	町田市	神奈川県 相模原市	神奈川県 川崎市	神奈川県 藤沢市	千葉県 柏市	
面積 ※1	71.55 km ²	328.91km ²	142.96 km ²	69.56 km ²	114.74 km ²	
2020年人 口※2	全体	431,079	725,493	1,538,262	436,905	426,468
	15歳未満	51,229 (11.9%)	82,547 (11.4%)	189,578 (12.3%)	56,885 (13.0%)	53,334 (12.5%)
	15～64歳	260,791 (60.5%)	453,230 (62.5%)	1,037,169 (67.4%)	271,712 (62.2%)	260,161 (61.0%)
	65歳以上	119,059 (27.6%)	189,716 (26.1%)	311,515 (20.3%)	108,308 (24.8%)	112,973 (26.5%)
外国人人口※2	全体	6,276	13,334	38,482	5,198	7,882
	1位	中国 (2,642)	中国 (3,096)	中国 (14,953)	中国 (978)	中国 (3,173)
	2位	韓国・朝鮮 (992)	韓国・朝鮮 (1,204)	韓国・朝鮮 (6,921)	韓国・朝鮮 (591)	ベトナム (944)
	3位	フィリピン (564)	フィリピン (1,080)	フィリピン (4,014)	ベトナム (554)	韓国・朝鮮 (919)
	4位	ベトナム (378)	ベトナム (856)	ベトナム (2,870)	ブラジル (465)	フィリピン (849)
5位	アメリカ (240)	アメリカ (270)	ネパール (1,223)	パルー (426)	ネパール (251)	
昼間人口 ※2	381,872 (昼夜間比 88.6)	625,027 (昼夜間比 86.2)	1,285,285 (昼夜間比 83.6)	403,426 (昼夜間比 92.3)	383,860 (昼夜間比 90.0)	
2015年人口※3	全体 (2015年比)	387,600 (2015年比 89.7)	636,888 (2015年比 88.4)	1,549,981 (2015年比 105.1)	419,956 (2015年比 99.1)	406,714 (2015年比 98.3)
	15歳未満	38,624 (10.0%)	64,276 (10.1%)	172,979 (11.2%)	49,533 (11.8%)	4,314 (10.6%)
	15～64歳	199,375 (51.4%)	330,281 (51.9%)	910,107 (58.7%)	222,940 (53.1%)	223,377 (54.9%)
	65歳以上	149,601 (38.6%)	242,331 (38.0%)	466,895 (30.1%)	147,483 (35.1%)	140,196 (34.5%)

- ※1 国土地理院「令和5年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」より
 ※2 令和2（2020）年国勢調査より
 ※3 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

（3）文化財、文化イベント、文化芸術関連の職業人口

項目	町田市	神奈川県 相模原市	神奈川県 川崎市	神奈川県 藤沢市	千葉県 柏市
文化財	・国指定 2 件 ・都指定 16 件 ・市指定・登録 57 件	・国指定 11 件 ・県指定 17 件 ・市指定・登録 140 件	・国指定・登録 25 件 ・県指定 27 件 ・市指定 115 件	・国指定 9 件 ・県指定 13 件 ・市指定 88 件	・国指定 2 件 ・県指定 8 件 ・市指定 28 件
主な文化財	・旧永井家住宅(国指定重要文化財) ・高ヶ坂石器時代遺跡(国指定史跡) ・田端環状積石遺構(都指定史跡) ・本町田遺跡(都指定史跡) ・白洲次郎・正子旧宅(市指定史跡)	・寸沢嵐石器時代遺跡(国指定史跡) ・勝坂遺跡(国指定史跡) ・石井家住宅(国指定重要文化財) ・太刀 銘 定吉(国指定重要文化財) ・石楯尾神社本殿(県指定重要文化財)	・旧伊藤家住宅(国重要文化財) ・旧鈴木家住宅(県重要文化財) ・子母口貝塚(県指定史跡) ・東高根遺跡(県指定史跡) ・水車小屋(市重要歴史記念物)	・藤沢敵御方供養塔(国指定史跡) ・江ノ島(県指定史跡) ・舟地藏(市指定重要文化財) ・木造日光・月光菩薩立像(市指定重要文化財) ・西富貝塚(市指定史跡)	・旧吉田家住宅(国重要文化財) ・弄玉仙図(国重要文化財) ・旧手賀教会堂(県指定史跡) ・藤ヶ谷十三塚(県指定史跡) ・弁天古墳出土物(市指定文化財)
主な郷土芸能、伝統文化	・金井の獅子舞 ・矢部八幡宮獅子舞 ・丸山獅子舞 ・大戸囃子 ・三ツ目囃子 ※すべて市指定無形民俗文化財	・下九沢の獅子舞 ・大島の獅子舞 ・鳥屋の獅子舞 ※すべて県指定無形民俗文化財 ・的祭(市指定無形民俗文化財)	無形民俗文化財 8 件 (菅の獅子舞、川崎山王祭りの宮座式など) ・金山神社の観光用祭礼「かなまら祭り」が海外に有名)	・江の島囃子 ・相模のささら踊り ※県指定無形民俗文化財 ・西富ばやし ・片瀬餅つき唄 ※市指定無形民俗文化財	・船戸のおびしゃ ・十二座神楽 ・若白毛ばやし ・手賀ばやし ・大室の盆綱引き ※すべて市指定無形民俗文化財
主な文化イベント	・まちだ全国バレエコンクール ・全国町田ピアノコンクール ・鶴川ショートムービーコンテスト ・フェスタまちだ ・町田時代祭り ・キラリ☆まちだ祭 ・町田さくらまつり ・町田市民文化祭「春の催し」 ・町田市民文化祭「秋の催し」 ・町田市郷土芸能まつり	・相模原市民桜まつり ・泳げ鯉のぼり相模川(2020年終了) ・橋本七夕まつり ・さがみ湖湖上祭花火大会 ・相模原納涼花火大会	・市民によるシネマアワード事業「KAWASAKI しんゆり映画祭」	・藤沢市展 ・藤沢市民オペラ ・藤沢オペラコンクール ・藤沢市民まつり ・藤沢江の島花火大会	・柏まつり ・手賀沼花火大会 ・アートラインかしわ ・柏の葉イノベーションフェス

各自治体ホームページより作成

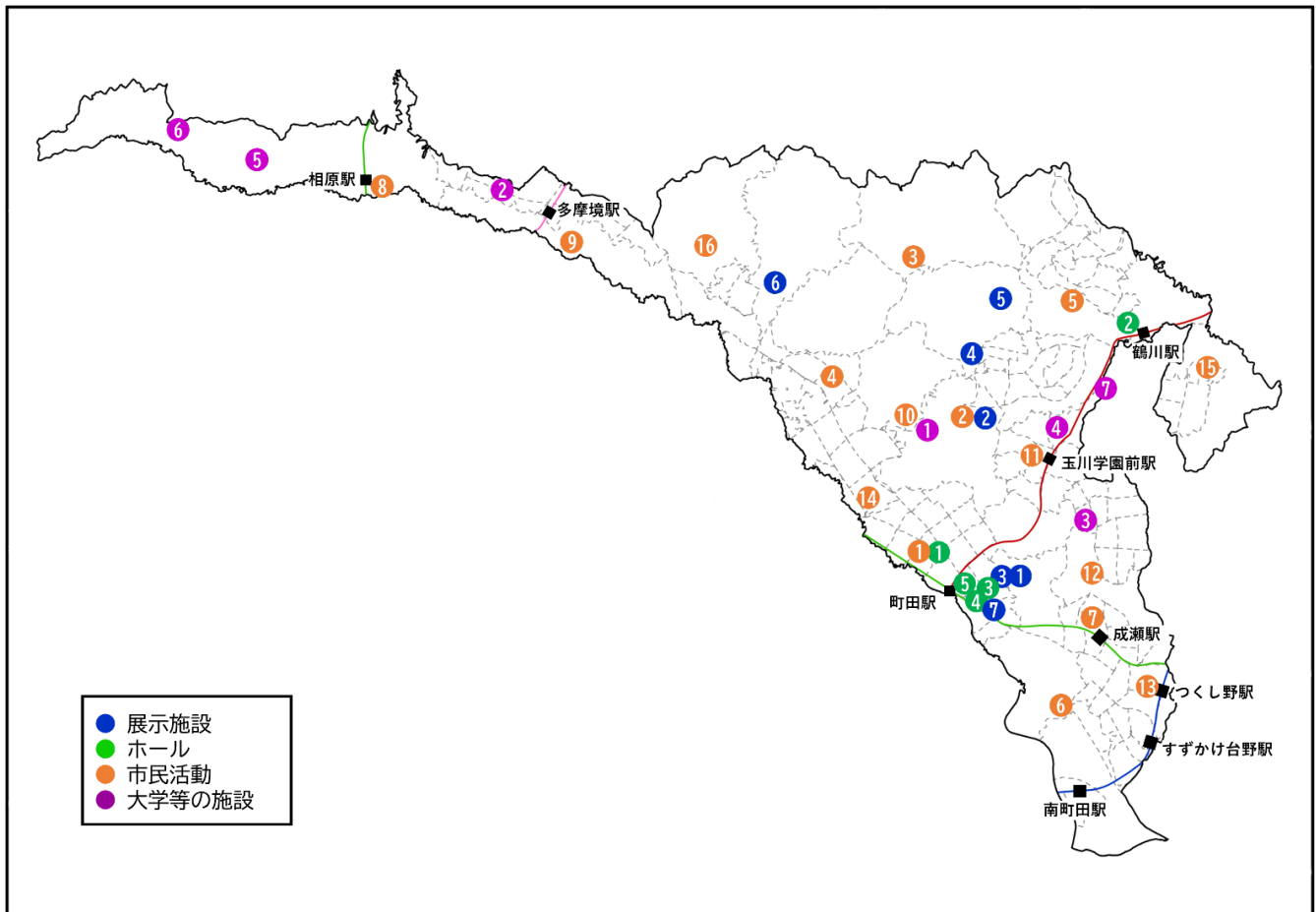
項目	町田市	神奈川県 相模原市	神奈川県 川崎市	神奈川県 藤沢市	千葉県 柏市
音楽家、舞台芸術家	720 人(0.2%)	550 人(0.08%)	3,840 人(0.2%)	240 人(0.05%)	200 人(0.04%)
美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	1,880 人(0.4%)	2,200 人(0.3%)	8,050 人(0.5%)	1,260 人(0.3%)	1,280 人(0.3%)
著述家、記者、編集者	560 人(0.1%)	490 人(0.07%)	2,840 人(0.2%)	640 人(0.1%)	540 人(0.1%)

令和2（2020）年国勢調査より

(4) 公立文化施設

項目	町田市	神奈川県 相模原市	神奈川県 川崎市	神奈川県 藤沢市	千葉県 柏市
劇場・ホール	町田市民ホール ・ホール(862人/多目的) ・練習室、ギャラリー2、会議室5	相模原市文化会館(相模女子大学グリーンホール) ・大ホール(1790席/クラシック音楽他) ・多目的ホール(240席)	川崎市スポーツ・文化総合センター(カルッツかわさき) 2017年開館 (2,013席/多目的/プロセニアム)	藤沢市民会館 ・大ホール(1380席) ・小ホール(434席) ・展示集会ホール、会議室2、集会室4、和室、リハーサル室	市民文化会館 ・大ホール(1338人/多目的) ・小ホール(300人/多目的) ・多目的室2、和室
	和光大学ポプリホール鶴川 ・ホール(300席/多目的) ・リハーサル室、練習室3、多目的室、プレイルーム、エクササイズルーム、会議室2、	相模原市民会館 ・大ホール(1270席/クラシック音楽/伝統芸能) ・小ホール(799席/クラシック音楽/伝統芸能)	川崎シンフォニーホール(ミュージア川崎シンフォニーホール) 2004年開館 音楽ホール(1,997席/多目的/ワインヤード) 市民交流室(150席/多目的/平土間)	藤沢リラホール ・ホール(200席/多目的)	アミューゼ柏 ・ホール(400席/多目的) ・ブラザ、リハーサル室、会議室4、和室2、調理実習室、幼児室、工芸室、音楽室
	町田市文化交流センター ・ホール(最大220人/多目的) ・スタジオ、ギャラリー、会議室6、和室	杜のホールはしもと ・大ホール(539席/クラシック音楽他) ・多目的室(200席)	川崎市麻生市民館(麻生文化センター) 1985年開館 (1,002席/多目的/プロセニアム)	湘南台文化センター市民シアター ・ホール(633席/多目的) ・リハーサル室、スタジオ	中央公民館 ・講堂(171人) ・多目的室、集会室3、会議室3、調理実習室、音楽室、和室、茶室
	町田市生涯学習センター ・ホール(定員158人/多目的/平土間) ・音楽室2、美術工芸室、調理実習室、プレイルーム、視聴覚室、学習室7、和室2	神奈川県立相模湖交流センター ・ラックスマンホール(456席/多目的)	川崎市アートセンター(214人, 113人) 川崎能楽堂(148人) 新百合トウェンティワンホール(450人) ラゾーナ川崎プラザソル(200人) 川崎市総合福祉センター(923人) 川崎市立労働会館(762人) 川崎市産業振興会(478人) 川崎市国際交流センター(264人)	Fプレイス ・ホール(300人/多目的) ・多目的交流ホール(157人) ・多目的室2、会議室9、調理室、和室、保育室	—
美術館・博物館	・国際版画美術館 ・町田市フォトサロン ・町田市民文学館 ことばらんど ・市立博物館 ・町田市考古資料館 ・自由民権資料館 ・泰蔵歴史美術館(民間) ・西山美術館(民間)	・相模原市立博物館 ・女子美術大学美術館 女子美アートミュージアム ・光と緑の美術館	・川崎市立日本民家園 ・川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム ・川崎市岡本太郎美術館 ・川崎市市民ミュージアム ・アートガーデンかわさき ・川崎市青少年科学館 ・東芝未来科学館 ・明治大学平和教育登戸研究所資料館 ・小黒恵子童謡記念館 ・東海道川崎宿交流館 ・川崎浮世絵ギャラリー	・藤澤浮世絵館 ・日本大学生物資源科学部博物館 ・藤沢市民ギャラリー(民間)	・柏市民ギャラリー ・柏市郷土資料展示室 ・柏プラネタリウム ・廣池千九郎記念館(民間) ・中村順二美術館(民間)
市民の文化活動に利用されている公立施設	・市民センター6施設 ・コミュニティセンター2施設 ・青少年施設ひなた村 ・小野路宿里山交流館	・相模原市立津久井中央公民館 ・相模原南市民ホール ・相模原市立城山文化ホール(もみじホール城山) ・相模原市立小田急相模原駅文化交流プラザ(おださがプラザ) ・藤野芸術の家	・川崎市民プラザ(489人) ・幸市民館(840人) ・高津市民館(700人) ・多摩市民館(906人) ・中原市民館(375人) ・宮前市民館(910人) ・川崎市生活文化会館(96人)	・公民館・市民センター15施設(分館含む) ・市民活動推進センター ・市民活動プラザ ・市民の家41施設 ・ふじさわ宿交流館	・柏市民交流センター ・近隣センター23施設

3. 町田市内の主な文化施設の配置図



展示施設

- ① 町田市立国際版画美術館
- ② 町田市立博物館
- ③ 町田市民文学館ことばらんど
- ④ 町田市フォトサロン
- ⑤ 町田市立自由民権資料館
- ⑥ 町田市考古資料室
- ⑦ 町田市立図書館

ホール

- ① 町田市民ホール
- ② 和光大学ポプリホール鶴川
- ③ 町田市民フォーラム
- ④ 町田市文化交流センター
- ⑤ 町田市生涯学習センター

市民活動

- ① 町田市庁舎
- ② 青少年施設ひなた村
- ③ 小野路宿里山交流館
- ④ 忠生市民センター
- ⑤ 鶴川市民センター
- ⑥ 南市民センター
- ⑦ なるせ駅前市民センター
- ⑧ 堺市民センター
- ⑨ 小山市民センター
- ⑩ 木曾山崎コミュニティセンター
- ⑪ 玉川学園コミュニティセンター
- ⑫ 成瀬コミュニティセンター
- ⑬ つくし野コミュニティセンター
- ⑭ 木曾森野コミュニティセンター
- ⑮ 三輪コミュニティセンター
- ⑯ 上小山田コミュニティセンター

大学等の施設

- ① 桜美林芸術文化ホール
- ② サレジオ工業高等専門学校 サレジアンホール
- ③ 昭和薬科大学 記念講堂
- ④ 玉川大学 University Concert Hall 2016
- ⑤ 東京家政学院大学 大江スミ記念ホール
- ⑥ 法政大学 百周年記念館
- ⑦ 和光大学 Jホール

区分	番号	名称	所在地	概要
展示施設	①	町田市立国際版画美術館	原町田 4-28-1	・国内唯一の版画を中心とする美術館 ・常設展示室、企画展示室、市民展示室（約229㎡）、アトリエ、版画工房、映像コーナー、香道など
	②	町田市立博物館	本町田	・ガラス器、陶磁器等の工芸美術品を中心に

区分	番号	名称	所在地	概要
			3562	収集 ・2016年で博物館での展示会は終了し、出張展示や体験講座を実施
	③	町田市民文学館 ことばらんど	原町田 4-16-17	・1階に図書館機能、2階に展示機能、3階に施設貸出機能を持った施設 ・文学サロン、資料閲覧室、展示室、会議室×7、保育室など
	④	町田市フォトサロン	野津田町 3272 薬師池公園内	・展示の企画、写真愛好家の個展、グループ展での利用、撮影会、講座の開催などを実施 ・展示室×2（第1展示室は2室に分割可）
	⑤	町田市立自由民権資料館	野津田町 897	・自由民権運動及び町田の歴史に関する資料の収集、保管、閲覧、展示を実施 ・展示室、閲覧室など
	⑥	町田市考古資料室	下小山田 町4016	・市内の遺跡から発見された考古資料や発掘調査に関する記録類の収集・保管、資料の一部を公開 ・展示室
	⑦	町田市立図書館	原町田 3-2-9	・読書室、集会室など
ホール	①	町田市民ホール	森野 2-2-36	・ホール（多目的、862席）、練習室、ギャラリー×2、会議室×5
	②	和光大学ポプリホール鶴川	能ヶ谷 1-2-1	・ホール（クラシック音楽が主目的、300席）、リハーサル室、練習室×3、多目的室、プレイルーム、会議室×2、エクササイズルームなど
	③	町田市民フォーラム	原町田 4-9-8 サウスフロントタワー町田内	・男女平等推進と消費者保護のための事業を展開し、男女平等推進団体、消費者保護団体、ボランティア団体や文化活動団体、市民活動団体等へ活動場所を提供する施設 ・ホール（多目的、188人）、調理室、和室×3、学習室×2など
	④	町田市文化交流センター	原町田4- 1-14	・ホール（多目的、220人）、会議室×6、スタジオ、ギャラリー、和室など
	⑤	町田市生涯学習センター	原町田 6-8-1	・生涯学習活動を総合的に支援するための教育機関 ・ホール（多目的、158人）、調理実習室、美術工芸室、音楽室×2、視聴覚室、学習室×7、和室×2、プレイルームなど
市民活動	①	町田市庁舎	森野2-2- 22	・イベントスタジオ、市民の広場、市民協働おうえんルームなど
	②	青少年施設ひなた村（町田市子ども創造キャンパスひなた村）	本町田 2863	・カリヨンホール（多目的、246人）、レクリエーションルーム×2、和室、屋外炊事場×2など
	③	小野路宿里山交流館	小野路町 888-1	・江戸時代の旅籠を改修し、観光交流の拠点として再整備した施設 ・交流スペース、和室、土蔵（展示ギャラリー）

区分	番号	名称	所在地	概要
				一として利用可)、製茶場など
	④	忠生市民センター	忠生3-14-2	・ホール(多目的、300人)、会議室×3、和室、多目的室×4、料理講習室など
	⑤	鶴川市民センター	大蔵町1981-4	・ホール(多目的、350人)、会議室×2、和室×2、音楽室など
	⑥	南市民センター	金森4-5-6	・ホール(多目的、300人)、会議室×2、和室×2、音楽室など
	⑦	なるせ駅前市民センター	成瀬1-2-5	・ホール(多目的、170人)、会議室(2室に分割利用可)×2、和室など
	⑧	堺市民センター	相原町795-1	・ホール(多目的、300人)、会議室×3、和室×2、音楽室など
	⑨	小山市民センター	小山町2507-1	・ホール(多目的、300人)、会議室×3、和室、音楽室、多目的室、いこいの間など
	⑩	木曾山崎コミュニティセンター	山崎町2160-4	・ホール(多目的、300人)、会議室×4、和室×2、音楽室など
	⑪	玉川学園コミュニティセンター	玉川学園2-19-12	・多目的ホール(140人)、多目的室×4(うち1室は2室に分割利用可)など
	⑫	成瀬コミュニティセンター	西成瀬2-49-1	・ホール(200人)、多目的室×3、会議室×2、和室、音楽室など
	⑬	つくし野コミュニティセンター	つくし野2-26-5	・ホール(180人)、会議室×2、和室、音楽室など
	⑭	木曾森野コミュニティセンター	木曾東1-2	・ホール(180人)、会議室×2、和室、音楽室など
	⑮	三輪コミュニティセンター	三輪緑山4-14-1	・ホール(182人)、会議室×5、和室など
	⑯	上小山田コミュニティセンター	上小山田町2616-2	・会議室(90人)、和室×2
大学等の施設	①	桜美林芸術文化ホール	本町田2600-4	・プロビデンスホール(クラシック音楽専用、380席)、ストーンズホール(多目的、250席)、ギャラリー、ひなたやま交流プラザなど
	②	サレジオ工業高等専門学校 サレジアンホール	小山ヶ丘4-6-8	・教会聖堂様式を踏襲した外形をもつ斬新なデザインの多目的ホール(350席) ・入学式、卒業式、集会、講演会など
	③	昭和薬科大学 記念講堂	東玉川学園3-3165	・多目的ホール(660席) ・入学式、卒業式、学園祭などのイベントのほか、学会や公開講座、コンサートなど
	④	玉川大学 University Concert Hall 2016	玉川学園6-1-1	・音楽の学修に特化した教育施設 ・大ホールMarble(クラシック音楽主目的、486席)、小ホールARCHなど
	⑤	東京家政学院大学 大江スミ記念ホール	相原町2600	・収容人数1400人の多目的ホール ・入学式、卒業式、講演会、演奏会など
	⑥	法政大学 百周年記念館 国際会議場	相原町4342	・多言語対応もできる国際会議場
	⑦	和光大学 Jホール	金井ヶ丘5-1-1	・シンポジウムをはじめ、音楽団体の演奏会、大学祭のライブなど

4. 町田市の主な文化団体

町田市文化・国際交流財団（外郭団体）	地域文化を創造し、その発展を図るとともに、市民文化活動充実のための支援と地域における国際交流活動の推進を図り、もって文化の香り高く国際感覚豊かなまちづくりに寄与することを目的と2004年4月1日に設立。 主な事業として、芸術文化及び市民文化の向上に関する事業、町田市が設置する文化施設等の管理運営に関する事業、地域における国際交流活動の推進事を実施。町田市民ホールや鶴川緑の交流館ホール等の指定管理者のJVの代表団体。
町田市文化協会	22団体が加盟、会員数は約4,000名。主な活動として、『町田市民文化祭 秋の催し、春の催し』及び『新春文化の祭典 in 鶴川』を主催。
町田市合唱連盟	2022年現在34団体900余名で構成されている。町田市内で活動している児童、女声、男声、混声などの合唱団が集まり、様々な音楽活動を実施。毎年「町田市合唱祭」を開催。
まちだバレエ連盟（旧NPO法人町田バレエ育成振興会）	「まちだ全国バレエコンクール」を主催。2019年10月より、旧NPO法人町田バレエ育成振興会は「まちだバレエ連盟」に改名。2023年は第22回まちだ全国バレエコンクールが4月に開催された。
町田市郷土芸能協会	町田市の郷土芸能・伝統芸能を継承する団体。毎年、町田市郷土芸能まつりを主催・運営。町田市郷土芸能まつりでは、郷土芸能団体が市内各地域で伝承されてきた獅子舞やお囃子などを披露。2023年は第42回町田市郷土芸能まつりが2月に開催された。
町田市シティオペラ協会	2003年2月に発足。町田、相模原、多摩を中心とするオペラを愛好する、個人、団体が参加して、オペラの研究、演奏活動を行い、オペラ芸術の振興に寄与する。毎年市民ホールにて定期公演を開催。
町田フィルハーモニー交響楽団	1977年に「町田市民管弦楽団」から「町田フィルハーモニー交響楽団」と改称。モットーは「すばらしいアマチュアオーケストラを目指し、音楽を通じて相互の親睦研鑽を深め、あわせて地域音楽文化の発展向上に努めること」。毎年10月に市民ホールにて定期演奏会を開催しており、2023年は第90回定期演奏会を開催予定。
町田市音楽協会	「全国町田ピアノコンクール」を主催。2023年度は第47回を迎える。
音楽座ミュージカル※	1987年に旗揚げ。第1回作品として「シャボン玉とんだ宇宙（ソラ）までとんだ」を創作・上演。その後「とっってもゴースト」「チェンジ」「マドモアゼル・モーツァルト」「泣かないで」等、新作を発表し続けている。2013年に町田市文化芸術パートナーシップ協定の第1号として町田市と締結。

※ 町田市文化芸術パートナーシップ協定を締結

各団体ホームページより作成